

提案

日付：2022/8/29

件名：トゲのある剪定枝の直接持ち込み

1.問題、課題

環境美化の観点からも剪定、除草は必要と思いますが、トゲのある剪定枝の出し方に長年悩んできました。2月の田端アンケートの中でも「トゲのある草木はビニール袋が破れるので段ボールはどうか」との意見がありました。

以前電話で伺ったときも小さく切って新聞紙にくるむ、もしくはひもで束ねて出す、とのことでした。しかし、いずれもけがの危険、特に後者は収集の方にとっても危険と思います。悩んだ末、茅ヶ崎グリーンリサイクルに相談したところ、トゲのある剪定枝でもそのまま小さく切る必要なく持ち込みできるとのこと。

実際持って行ったところ、担当の方も直接触るわけでもないのだけがの心配はなく、こちらも小さく切る必要なく収穫コンテナにいれたまま持って行けたのでたいへん楽でした。費用もとても安価でした。

長年の悩みが解決されました。

2.改善案：

このような持ち込み方法があることを、電話での問い合わせのときやゴミのげんぞー君で紹介する。

剪定枝、草の持ち込みに対して、無料とまで言わなくとも多少の補助をだすことで費用を抑え、直接持ち込みを促す。(無料にしてしまうと、乾燥させる努力をおこたるかな?との思いもあります。)

3.改善後の効果：

住民、収集業者の方々ともにケガの危険が減る。
特に小さく切ったり、ひもで束ねなくていいのはすごく楽。

月一回の可燃粗大ごみの日を待たずに自分の都合で持って行ける。

町の可燃粗大ごみの量が減る。

回答

<トゲのある剪定枝の直接持ち込み>

【所管:環境課】

剪定枝の業者さんへの直接の持ち込みに関する貴重な情報提供をいただき、誠にありがとうございます。

たしかにトゲのある剪定枝でも小さく切らずにそのまま持ち込むことができれば、ケガのリスクが減り、非常にメリットが大きいです。町への可燃粗大ごみの排出量が減るということもあります。

町でも公共施設から出る剪定枝については、資源循環と焼却によるCO₂排出量削減のため、当該業者へ資源化の委託をしております。

ご提案いただきましたとおり、町民からの問い合わせの際やゴミ野ゲンゾウ見聞録（ごみに関する機関紙）などで直接持ち込みについて、お知らせしたいと考えております。

また、持ち込みに関する補助につきましては、搬入量の見込みを想定した上で今後検討させていただきます。